

- 問1 瀬戸内地域の降水量が、日本海側や太平洋側と比べて少ない理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。香川県高松市の年降水量が約1150mmであるのに対し、日本海側の鳥取市が約1930mm、太平洋側の高知市が約2660mmと大きな差がある統計的背景を踏まえて答えなさい。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 台風の主な通過経路から外れているため、年間を通じて湿った空気が流入しにくいから。 | 2. 周辺を流れる寒流の影響を強く受け、空気中の水蒸気が凝結して雲になりにくいため。 | 3. 季節風が山地によって遮られ、湿った風が届かずに乾いた風が吹き込むため。 | 4. 内海であるため水面の蒸発量が少なく、上昇気流が発生しても雨雲が発達しないため。 |
|---|--|--|--|
- 問2 四国地方の山地の南側斜面において、みかんなどの柑橘類の栽培が盛んに行われている理由として、自然環境の面から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 海岸沿いに広がる広大な砂丘地帯において、スプリンクラーなどの灌漑設備を整え、水はけの良さを活かしているため。 | 2. 夏に発生しやすい冷害を避けるため、標高の高い傾斜地を利用して冷涼な気候を維持し、害虫の発生を抑えているため。 | 3. 付近を流れる暖流の影響で年間を通して温暖であり、南向きの斜面で日当たりが良く、排水や寒暖差の条件が適しているため。 | 4. 冬に北西から吹く季節風がもたらす大量の積雪を、春先の農業用水として安定して利用できる地形であるため。 |
|---|---|--|---|
- 問3 日本海側の鳥取、瀬戸内沿岸の高松、太平洋側の高知の三都市における雨温図の統計を比較した際、高松の降水量が他の二都市に比べて著しく少なくなる理由を、周辺の地形的特徴に触れて述べたものを選びなさい。（2020年 島根県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 鳥取は冬の季節風、高知は夏の季節風や台風の影響で降水が増えるが、高松は二つの山地に挟まれてそれらの湿った空気が届きにくいから。 | 2. 高松は標高の高い山々に囲まれた盆地状の地形であり、周辺の都市に比べて上昇気流が発生しにくく、常に乾燥した下降気流にさらされるため。 | 3. 太平洋からくる湿った空気が四国山地で雨を降させた後、高松を通り越してさらに北にある鳥取付近で再び雨を降らせるという循環構造があるため。 | 4. 日本海から吹き込む冬の季節風が中国山地を越える際に水分を失い、さらに四国山地を越える際に温められることで高松周辺の雨雲が消滅するため。 |
|--|--|--|--|
- 問4 四国地方における交通網の整備とその影響について述べた次の文のうち、1985年から2015年の交通手段別利用者数の推移から読み取れる状況として、歴史的背景をふまえて正しいものはどれですか。（2020年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 航空機の大規模化と空港の整備が進んだ結果、自動車を上回るペースで航空機の利用者数が推移している | 2. 橋の開通によって船舶の利用価値が見直され、自動車と船舶を併用する利用者が2015年にかけて倍増した | 3. 瀬戸大橋の開通によって鉄道の利便性が飛躍的に高まったため、2015年時点では鉄道が最大のシェアを占めている | 4. 本州四国連絡橋の開通によって自動車の利用が飛躍的に伸びた一方で、鉄道の利用割合は減少傾向にある |
|--|--|--|--|
- 問5 岡山県と東京の間の移動において、航空機の利用割合が約3.5割であるのに対し、鉄道の利用割合が約6割と高くなっています。このように鉄道が主要な移動手段となっている理由として、地理的な背景から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 岡山県内には空港が整備されておらず、隣接する県まで移動する手間がかかるため | 2. 東京との距離が非常に近く、航空機を運航させるための採算が取れない距離にあるため | 3. 山陽新幹線の運賃が全国の他の路線と比較して極めて安く設定されており、経済的優位性が高いため | 4. 新幹線の所要時間が約3時間強であり、空港への移動時間等を含めた航空機の利便性と比較して競争力が高いため |
|--|--|--|--|
- 問6 鳥取県の農業について述べた次の文のうち、産出額の構成とその背景について説明したものとして正しいものはどれですか。（2017年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 瀬戸内海の温暖な気候と傾斜地を活かした、レモンやみかんなどの果実栽培が中心である。 | 2. 干拓によって得られた広大な平地を利用した、大規模な稲作が中心となっている。 | 3. 大山の裾野に広がる広大な土地を利用して、牛や鶏などの飼育が盛んに行われている。 | 4. 大都市に近い立地を活かし、キャベツやレタスなどの近郊農業が産出額の半分以上を占める。 |
|--|--|--|---|
- 問7 日本の諸地域の産業構造について、広島県の特色を「工業」と「観光」の両面から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2016年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 農業産出額においてミカンなどの果実が占める割合が突出しており、製造業は地場産業を中心とした小規模なものに留まっている。 | 2. 製造品出荷額よりも農業産出額の方が大きく、特にサクランボや米の生産に特化している。 | 3. 宿泊者数は4県の中で最も多いが、製造品出荷額は1兆円を下回り、観光業への依存度が極めて高い。 | 4. 製造品出荷額が8兆円を超えて非常に高く、さらに世界遺産などの観光資源により宿泊者数も多いという、工業と観光のバランスが取れた構造である。 |
|--|--|---|---|
- 問8 かつて大阪・徳島間の移動はフェリーの利用を含め約650分を要していましたが、交通網の整備により約350分へと大幅に短縮されました。この変化が四国地方の農水産物の出荷に与えた影響について、最も適切な説明はどれですか。（2016年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 鉄道網の整備によって大量輸送が可能になったことで、フェリーによる輸送が完全に廃止され、輸送コストが大幅に上昇した。 | 2. 瀬戸大橋の開通により岡山県を経由するルートが主流となったため、徳島県産の農水産物は四国内での消費が中心となった。 | 3. 高速道路の整備によって四国内の移動は円滑になったが、本州側への輸送距離が長くなったため、大阪市場への出荷量は減少した。 | 4. 本州四国連絡橋の開通によって輸送時間が短縮されたことで、物流が効率化し、鮮度が重視される農水産物の出荷量が増加した。 |
|--|---|--|---|
- 問9 日本の主要な農業県である北海道、秋田県、茨城県、愛媛県の4県について、農業産出額の品目別割合を比較したとします。このうち、主食である米の割合が低く、一方で果実の産出額が全体の約3分の1という極めて高い比率を示す県として正しいものを選びなさい。（2020年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 茨城県 | 2. 愛媛県 | 3. 北海道 | 4. 秋田県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問10 瀬戸内地域の気候において、夏と冬の季節風をそれぞれ遮ることで、この地域に乾燥した風をもたらしている主な山地の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 鈴鹿山脈と伊吹山地 | 2. 奥羽山脈と出羽山地 | 3. 飛騨山脈と木曽山脈 | 4. 中国山地と四国山地 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
- 問11 中国・四国地方を地形や気候の特色に基づいて区分した際、日本海側に位置する地域と、本州と四国の間に広がる内海に面した地域をそれぞれ何と呼びますか。適切な組み合わせを選びなさい。（2022年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|----------|----------|-------------|
| 1. 山陰と瀬戸内 | 2. 山陽と東海 | 3. 山陰と北陸 | 4. 瀬戸内と中央高地 |
|-----------|----------|----------|-------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 季節風が山地によって遮られ、湿った風が届かずに乾いた風が吹き込むため。	日本の気候は季節風の影響を強く受けますが、瀬戸内地域は北側を中国山地、南側を四国山地に囲まれています。夏は太平洋からの湿った風が四国山地に遮られ、冬は日本海からの湿った風が中国山地に遮られます。その結果、山を越えて水分を失った乾いた風が瀬戸内側に吹き下ろすため、年間を通じて降水量が少なくなります。高松市の降水量が鳥取や高知に比べて大幅に少ないのは、この地形的要因によるものです。
問2	答え 3 付近を流れる暖流の影響で年間を通して温暖であり、南向きの斜面で日当たりが良く、排水や寒暖差の条件が適しているため。	四国地方の南部は、日本列島の太平洋側を流れる黒潮（暖流）の影響を強く受けるため、冬でも凍結しにくい温暖な気候が保たれます。また、山地の南側斜面は日照時間が長く、果実の糖度を高めるのに必要な日光を十分に確保できるほか、傾斜地であるため水はけが良いという利点があります。これに加えて、台風の通過による多量の降水といった気象条件も、この地域の農業に大きな影響を与えています。
問3	答え 1 鳥取は冬の季節風、高知は夏の季節風や台風の影響で降水が増えるが、高松は二つの山地に挟まれてそれらの湿った空気が届きにくいため。	日本の気候は、季節風が山地を越える際にその山脈の風上側に雨や雪を降らせる特徴があります。日本海側の都市は冬に、太平洋側の都市は夏や台風時に降水量が増加しますが、中国地方から四国地方へ南北に横断する地形を見ると、高松は二つの高い山地の中間に位置しています。このため、どちらの季節からの湿った空気も遮断され、降水量が抑えられる結果となります。
問4	答え 4 本州四国連絡橋の開通によって自動車の利用が飛躍的に伸びた一方で、鉄道の利用割合は減少傾向にある	本州四国連絡橋（瀬戸大橋）には鉄道も通っていますが、統計上、最も顕著な伸びを示したのは自動車です。橋の開通により、時間や場所の制約が少ない自動車（高速バスや自家用車）が普及したため、相対的に鉄道や船舶の利用割合は低下しました。特に船舶は、橋の開通によって多くの定期航路が廃止・縮小に追い込まれるなどの影響を受けています。
問5	答え 4 新幹線の所要時間が約3時間強であり、空港への移動時間等を含めた航空機の利便性と比較して競争力が高いため	交通手段の選択において、利用者は「ドア・ツー・ドア（出発地から目的地まで）」の総所要時間を重視します。岡山県の場合、山陽新幹線の「のぞみ」を利用すれば東京まで約3時間10分程度で到着できます。航空機を利用する場合、搭乗手続きや羽田空港・岡山空港へのアクセス時間を考慮すると新幹線と同等か、場合によっては新幹線の方が早く目的地に到着できるため、鉄道の利用割合が高くなっています。
問6	答え 3 大山の裾野に広がる広大な土地を利用して、牛や鶏などの飼育が盛んに行われている。	鳥取県の農業産出額において、畜産は全体の58.1%を占める主要な部門です。これは、大山の周辺に広がる緩やかな傾斜地や広大な土地が、家畜の飼育や牧草地として適しているという地理的条件に基づいています。一方で、米（12.5%）、野菜（10.8%）、果実（7.9%）などの割合は畜産に比べると低くなっており、全国的に見ても畜産に特化した産出構造を持っているのが特徴です。
問7	答え 4 製造品出荷額が8兆円を超えて非常に高く、さらに世界遺産などの観光資源により宿泊者数も多いという、工業と観光のバランスが取れた構造である。	広島県は、厳島神社や原爆ドームといった世界的な観光地を有するため宿泊者数が非常に多い一方で、重化学工業を中心とした製造品出荷額も全国上位に位置しています。これに対し、山形県は米、和歌山県は果実（ミカンなど）の農業産出額に特徴があり、京都府は観光面での強さが際立っていますが製造品出荷額の規模では広島県に及びません。
問8	答え 4 本州四国連絡橋の開通によって輸送時間が短縮されたことで、物流が効率化し、鮮度が重視される農水産物の出荷量が増加した。	本州と四国を陸路で結ぶ「本州四国連絡橋」が整備されたことで、それまでのフェリー利用に比べて移動時間が劇的に短縮されました。この交通網の変革は、特に鮮度が求められる真鯛などの水産物や野菜の輸送に大きな利点をもたらしました。輸送のスピードアップと効率化が実現した結果、徳島県などの四国地方から大阪といった大消費地への出荷が容易になり、市場での取り扱い量が増大する要因となりました。
問9	答え 2 愛媛県	各都道府県の農業産出額には地域特性が強く現れます。秋田県は「米」の割合が非常に高く、茨城県は近郊農業を背景に「野菜」や「畜産」の割合が高くなります。また、北海道は広大な土地での「畜産」や畑作が中心です。これらに対し、温州みかんなどの生産が盛んな愛媛県は、果実が突出して高い割合を占める特徴的なグラフとなります。
問10	答え 4 中国山地と四国山地	瀬戸内地域は、本州の中国山地と四国島の四国山地に挟まれた位置にあります。夏に南東から吹く湿った季節風は四国山地によって、冬に北西から吹く湿った季節風は中国山地によってそれぞれ遮られるため、その間に位置する瀬戸内海沿岸には雨や雪が届きにくくなります。このため、温暖で晴天の日が多い「瀬戸内の気候」が形成されます。
問11	答え 1 山陰と瀬戸内	中国・四国地方は、日本海側の「山陰」、瀬戸内海に面した「瀬戸内」、太平洋側の「南四国」の3つの地域に区分されるのが一般的です。これらは地形的な障壁となる山地の存在や、それに伴う気候の大きな違いに基づいた区分です。